

# 人生100年時代を支える強い財政を!!

~未来の私たち、そして子供たちのために!~

## こ す み 小澄 けんしろう

再生の道 公認

税理士・行政書士

税金とお金の専門家である税理士の経験を活かし  
都政を徹底的に検証し持続可能な行政体制を構築します!!



再生の道 代表

石丸 伸二

### いま財政を本気で見直さないと 持続可能な行政サポートが いずれ困難になる!!

私が生まれ育った広島県安芸高田市の市長になったのが2020年。  
今から5年前になります。安芸高田市は全盛期は人口約6万人。  
しかし、今では人口約2万6千人と半以下に減少。  
平均年齢も約55歳と人口減少・高齢化に歯止めがかかりません。  
この東京都においても、2030年くらいよいよ人口減少社会に突入します。  
私たちが安心して暮らしていくためには、安定した行政サービスが不可欠です。  
しかし私自身、地方行政で財務が厳しい中、行政サービスの維持の難しさに直面してきました。  
東京都は今ならばまだ間に合います!  
今のうちから財政を徹底検証し、未来を見て無駄のない税金の活用が必要です。  
税金とお金、そして経営者のサポートをしてきた、  
税理士の小澄さんだからこそ、都政の無駄の徹底検証に絶対に必要な人材と確信しています。

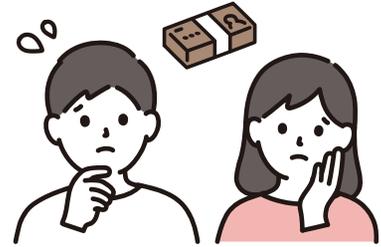
再生の道

頒布責任者/西岡直人 東京都港区高輪4-11-23 AUBE TAKANAWA202  
印刷者/BAO株式会社 代表取締役 中村哲也 東京都杉並区西荻南2-20-8 山田ビル302

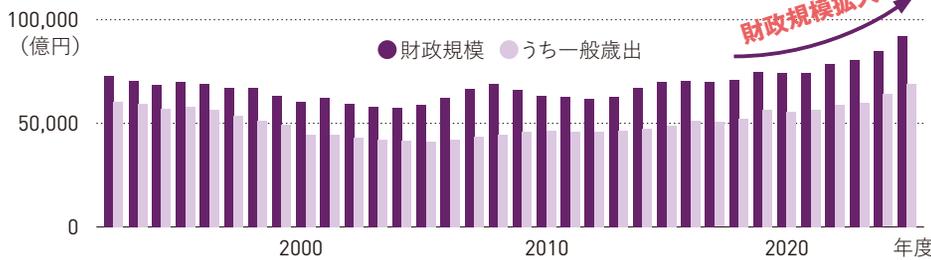
都政の課題

# 増え続ける東京都の予算

小池都政では、この9年間で年間予算が約13兆円→約18兆円と5兆円もUP

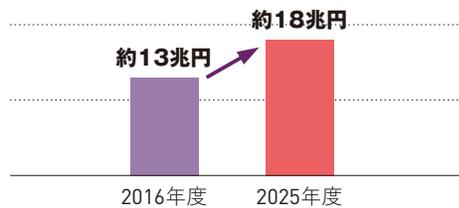


東京都 財政規模・一般歳出の推移(一般会計当初予算)



東京都 予算規模

約5兆円もUP(約1.4倍に)



## なんで、予算が増え続けているの？

途中、オリンピックや新型コロナウイルス対応で臨時でお金がかかってしまった。しかし、その後も予算規模を縮小できていない... 家計と同じ。生活水準を上げてしまう(予算を付けてしまうと)、なかなか削るのが難しいのが実情です。

## でも、見直さないとい!! どうしたら良いの？

3つの切り口から、『徹底検証』が必要です!!

## 「徹底検証」すべき3つのポイント

### 1. 無駄が無いこと!!

特定の企業、特定の組織、政党の支持母体へのしがらみなど不当な利益供与や、不透明なお金の流れが無いのか? 徹底的に検証!!

### 2. 優先順位が正しいこと!!

目的に沿った予算が組まれているか? 都民の未来のために本当に必要な施策になっているのか? 徹底的に検証!!

### 3. 効果が実際あること!!

当初の目的が達成されているのか? 最小のコストで最大の効果が得られる内容だったのか? 予算執行後のチェックも含め、徹底的に検証!!

## なぜ都議会議員を目指すのか? → 放漫財政に危機感!!

私は税理士という仕事をしています。まず、なぜ税理士になろうと思ったのか? それは、人生100年時代というキーワードです。私たちが100歳まで生きる。その事をイメージした際に、まず思い浮かんだのが将来への不安でした。日本の社会保障制度は維持できるのか? 『自分の身を自分で守れなくなった時』に、誰が守ってくれるのか? その様なことを考えたときに、私は『自分の身は自分で守らねば』とお金や法律のプロである税理士を目指すことにしました。そして、いま、税理士として仕事をする中で、やはりお客様の『自分の身を自分で守れなくなった時』の不安。その不安に直面するたびに、行政によるサポート体制の重要性を認識しています。

しかし、行政データを見ればみるほど、将来の不安は増すばかり。なぜ不安になるのか? それは私たちの納めた大切な税金。その使い方が乱暴すぎるからです。『徹底的に検証していかないと』その危機感から、今回挑戦することになりました。

## 小澄けんしろう(こすみけんしろう)ならば 都政の無駄を徹底チェックできます!!

- 理由①** 知事や政党に対し賛否するのではなく、有権者目線で議案毎に賛否します。
- 理由②** 特定の支持母体(組織や団体)がありません。あくまでも有権者目線で判断します。
- 理由③** 税理士で培った、会計の知見・民間企業の知見を活かし徹底検証ができます。
- おまけ** セミナー講師やラジオDJなどの経験から、皆様に分かりやすくお伝えする能力があります。

## 今の政治家には任せられないということですか? → 知事与党という体制が問題です!!

政治家個人の問題というよりも、正直『なぜ政党で争っているのだろうか?』『なぜ協力できることは協力して有権者目線で検討できないのだろうか?』という疑問がありました。政治家は有権者の代弁者。政党の代弁者ではありません。現在の都政は年間約18兆円もの予算規模となっており、都議会議員は127人。単純に計算しても、私たちの税金等の使途について都議会議員一人当たり1400億円ものチェックをしていかなくてはなりません。協力体制・分業体制でチェックし検証する必要があります。政党間で争いをしている余裕はありません。



## 財務・会計のプロが徹底的に検証していきます!!

### Xでは、毎日情報発信中!

Facebook・Instagramでも政治活動の状況をリアルに配信中!



X



Facebook



Instagram



ホームページ